

今週のお祈り 聖霊降臨後第17主日(特定20)特祷

すべて良きものの造り主、与え主である力と栄光の神よ、御名を愛する愛をわたしたちの心に植え、まことの信仰を増し加え、すべての善をもって養い、いくしみのうちに歩ませてください。父と聖霊とともに一体の神、世々に生き、すべてを治めておられる御子、わたしたちの主、イエス・キリストによって。アーメン



日本聖公会 東日本教区
聖パウロ教会 にちようがっこう
〒153-0053 目黒区五本木 2-20-1
でんわ: 03-3710-6031

号外 319

発行日
2026年
9月20日

日曜学校では 10/11(日)~12(月・祝)に「秋のお泊まり会」を行ないます! 教会に泊まって一緒に食事をしたりお祈りをしたりして、遠足にも出かけます。申し込みが必要です。くわしくは教会まで(^_^)/

今週の聖書 マタイによる福音書 20:1~16

1 「天の国は、ある家の主人に似ている。主人は、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けとともに出かけて行った。2 彼は、一日につき一デナリオンの約束で、労働者をぶどう園に送った。3 また、九時ごろ行ってみると、何もしないで広場で立っている人々がいたので、4 『あなたがたもぶどう園に行きなさい。それなりの賃金を払うから』と言った。5 それで、彼らは出かけて行った。主人はまた、十二時ごろと三時ごろに出て行って、同じようにした。6 五時ごろにも行ってみると、ほかの人々が立っていたので、『なぜ、何もしないで一日中ここに立っているのか』と言った。7 彼らが、『誰も雇ってくれないのです』と答えたので、主人は、『あなたがたもぶどう園に行きなさい』と言った。8 夕方になって、ぶどう園の主人は管理人に言った。『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい。』9 そこで、五時ごろに雇われた人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。10 最初に雇われた人たちが来て、もっと多くもらえらるだろうと思っていたが、やはり一デナリオンずつであった。11 それで、受け取ると、主人に不平を言った。12 『最後に来たこの連中は、一時間しか働かなかつ



聖書からのメッセージ

執事 林 汶慶

私たちは、「長く働いた人がたくさんお給料をもらうのが公平だ」と思います。でも、イエスさまは不思議なお話をしました。

ぶどう園で、朝から一日中働いた人たちと、夕方から一時間だけ働いた人たちがいました。ところが主人は、みんなに同じお給料を渡しました。朝から働いた人たちは、「ずるい!不公平だ!」と怒りました。でも、夕方まで誰にも雇ってもらえなかった人たちにとって、それはその日の生活を支える大切なお金でした。主人は、その人たちにも一日分を与えました。

神さまの恵みも同じです。「これだけ頑張ったから、これだけもらえる」というものではありません。神さまが「あなたにも与えたい」と願ってくださる恵みです。だから私たちも人と比べず、「この人はいま何が必要かな」と考え、神さまの恵みを分け合える人になりたいですね。

たのに、丸一日、暑い中を辛抱して働いた私たちと同じ扱いをなさるとは。』13 主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたは私と一デナリオンの約束をしたではないか。14 自分の分を受け取って帰りなさい。私はこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。15 自分の物を自分のしたいようにしては、いけないのか。それとも、私の気前のよさを妬むのか。』16 このように、後にいる者が先になり、先にいる者が後になる。』